社会医療法人
同仁会
Dojinkai
Social Medical Corporation

私たちの理念「一視同仁」

同仁会報みみはら

2015年５月１日発行
第31号

民医連

発行　社会医療法人同仁会　同仁会報編集委員会　〒590-0824　堺市堺区老松町２丁58-１
TEL 072(244)7260　FAX 072(247)0165　URL http://www.mimihara.or.jp（同仁会HP）

和太鼓サークル「拓」

新病院完成祝賀会・旧病院さよならセレモニー

思いを受け継ぎ 新たなステージへ

ホールいっぱいの参加者のみなさん

青年職員によるリレートーク

新病院　完成祝賀会

期待を胸に大盛況で開催

新・耳原総合病院オープン前の3月28日（土）完成記念企画を開催しました。

新病院の完成を心待ちにしておられた多くの方にご参加いただき、竣工式をはじめ、協力医療機関様を招いての完成レセプション、一般内覧会を新病院で行い、夕方からは完成祝賀会と、新たなステージへの期待が花開く一日となりました。

祝賀会会場となったアゴーラ・リージェンシー堺には来賓359人を含む約430人が集い、和太鼓サークル「拓」の祝太鼓で賑やかに幕を開けました。

斉藤和則理事長が開宴に先立ち、「この日を迎えるまでには様々な苦難もありましたが、先人達の熱い思いも込められた新病院オープンを迎えることができました」とお礼を述べました。

最初に御祝辞を賜った竹山おさみ堺市長からは、60年以上前からこの地で住民のいのちと健康を支えてきた同仁会・耳原への心のこもったお言葉を頂くとともに、新病院建設に対して尽力いただいた多くの方々に対して敬意を述べられました。

竹山おさみ堺市長

他にも堺市医師会副会長、地元自治連合会協議会会長、民医連、関係諸団体など、8人の皆さまからも祝辞を頂戴しました。会場の各テーブルでは、懐かしい思い出話や新病院完成を喜び合うひと時になりました。

開設以来、温かく、また厳しくご指導・ご支援いただいた皆さまに向け、青年職員によるリレートークも行われました。医師・看護師などそれぞれの職種が、「いのちの平等」「地域まるごと健康づくり・まちづくり」の理念を受け継ぎ、頑張る決意を発表し、参加者から大きな拍手が送られました。

最後に奥村伸二病院長から「多くの皆さん、役職員の力を結集した素晴らしい建物が完成しました。私たちは、この新病院に魂を入れていかねばなりません。引き続き、ご指導、ご助力をお願いします」との結びの挨拶がありました。

ありがとう耳原総合病院

4月2日　感涙のさよならセレモニー

昼夜問わず多くの患者を受け入れてきた旧病院の解体式が、新病院への移転翌日に行われました。

旧病院の外来待合室には職員はじめ友の会、地域の皆さんが200人近く集まりました。「耳原実費診療所」時代から職員として勤務された上田直辰さんは、14階建の新病院への感無量の思いを語ってくださいました。旧病院を擬人化しての感謝の言葉を贈った斉藤理事長の挨拶では、参加した方それぞれの思いが溢れ、思わず涙する姿が…。

最後に、旧病院廊下の壁に奥村病院長を筆頭にセレモニー参加者が次々とハンマーを打ち下ろし感動の幕を閉じました。

◇　◇

今月号がお手元に届く頃には、すでに新病院での診療開始から1ヶ月となります。また、1年後の5月には地域交流ゾーンを含めたⅡ期工事が終わりフルオープンを迎えることになります。病院を訪れるすべての方に「利用して良かった」と実感していただけるよう、職員一丸となって「魂」を注いでいきたいと思います。

セレモニーでの記念撮影

こんにちは！同仁会事業所だより ⑩

同仁会本部・財務部経理課

〒590-0824　堺市堺区老松町２丁58-１

TEL　072-247-2950
FAX　072-247-0165
http://www.mimihara.or.jp/

地域の方の支えを日々実感

同仁会本部・財務部経理課は同仁会が民医連綱領を実現するために必要な医療福祉活動を経営的な面で支えるのが役割です。

民医連は「利益の増大」を経営の自己目的にしていませんが、地域住民の医療・福祉要求に応えて施設・設備拡充や、職員の生活を守るためにも必要な利益を確保しなければなりません。その経営活動の基礎となる同仁会の正確な決算書を民医連統一会計基準にならい、迅速に作成することが最大の任務です。また、民医連の優点である「全職員の経営」を貫くために、法人や各事業所の経営の現状をいかに分かりやすく資料提供するということも重要な任務です。

4月に新病院が稼働し事業規模が増加しました。事業活動による資金確保に加え、「みみはら協同基金」は同仁会の経営を支えるもう一つの重要な柱です。経理課では個々の会員さんの「協同基金」の管理と入出金の実務も担っています。入出金の際、同仁会本部の経理課にお越しいただく会員さんや職員の方と直接触れ合う場面も多く、同仁会に対する期待と信頼を実感しながら実務にあたっています。

今年度は、経理課にも新入職員が配属され、職員全員新鮮な気持ちで日々研鑽を重ねています。職員6名、正確で迅速な実務を確立すべく頑張ります。

「協同基金」受付の様子